

東日本大震災を教訓に 北上市旅館ホテル組合と災害協定書を調印

北上市旅館ホテル組合(高橋賢輔組合長)との災害時における救助に関する協定書調印式は9日、本庁舎で行われました。

同組合は市の災害対策本部の要請を受けて、①宿泊施設を避難所として提供し、宿泊入浴および食事の提供②食材の提供および炊き出し③帰宅困難者のうち、徒歩で帰宅する人に対して、水道水やトイレなどの提供、地図などによる道路情報や知り得る通行可能な道路、近隣避難場所などに関する情報の提供を行います。

災害時には、状況によって避難者に対して、市の収容避

難所では対応しきれないケースも想定されますが、この協定の締結により今後の市の災害対応において、より迅速な対応が可能となりました。



調印した高橋北上市長(左)、高橋組合長(右)

安全で安心なまちづくりについて日ごろの 地域安全運動が評価され2団体が受賞

北上市防犯協会防犯隊は、防犯パトロールによる犯罪予防活動、児童生徒の登下校時間帯のあいさつ運動、自転車盗難被害多発場所での点検と防犯指導を積極的に行い、また

地域の行事などにおける雑踏警戒などに尽力していることが評価され、「若手県犯罪のない安全で安心なまちづくり表彰(知事表彰)」を受賞。また、北上市地域安全推進市民

北上市参加型緑化「みどりのまち育て」の 参加事業所に証明書などを贈呈

市は、緑化によってまちを美しく、手入れの行き届いたものにしていくため、まちなみの景観に貢献する樹木植栽や生垣、鉢植えなどによる緑化活動を「みどりのまち育て」とネーミングし、こうした取り組みを自主的に行う事業者の皆さんを募集し、公表しています。

平成25年度は、7月12日から11月29日までの間に募集し、新規参加事業所5件、継続参加事業所23件の合計28件の参加がありました。参加事業所へは、参加証明書と参加証明ステッカーを各1部、花の種類(継続参加事業所のみ)を贈呈します。

新規参加事業所

- ミニストップ北上江釣子店
- カフェ・ド・ラペ○ステーキ板料理 和かな北上店○手風琴○芳野内科医院

継続参加事業所

- 栄泉堂インター店○三陸菓匠さいとう北上本店○和Sギャラリー雑貨屋○Le Midi○Zomu Zomu○TRENTA
- 北上店○きたかみ風土○ランブル○銀寿司○珍竹林○南部屋敷北上インター店○枕流亭



みどりのまち育て参加証明ステッカー

更木の山寺・大竹・大森集落組合が 岩手県中山間地域モデル賞を受賞

更木の山寺・大竹・大森集落組合は、平成12年度に協定を締結し、現在まで中山間地域等直接支払制度を活用して共同活動を行っています。も

ともとは、別の集落協定であった大竹集落・大森集落との協働を実現し、協定規模の拡大、耕作放棄地の解消とそばの作付け、「中山間フェスティバルin山寺」の開催による地域間交流の促進など、

数々の活動が高く評価され、岩手県中山間地域モデル賞を受賞しました。



表彰を受けた同組合の千田哲也さん

平成28年6月から 119番通報の受け付けを共同化

北上地区、盛岡地区および奥州金ケ崎の3消防組合は、現在それぞれが行っている119番の受け付けを平成28年6月から共同で行うことで合意しました。

共同化の内容は、盛岡中央消防署の庁舎に「消防指令センター」をつくり、管轄する地域(※5市7町)の119番通報の受け付けと最寄りの消防署への出動指令をこのセンターが行うものです。



協議書に調印後握手を交わす北上地区消防組合管理者高橋敏彦北上市長(右)、盛岡地区広域消防組合管理者谷藤裕明盛岡市長(中央)、奥州金ケ崎行政事務組合管理者小沢昌記奥州市長(左)

※北上市、西和賀町、盛岡市、滝沢市、八幡平市、雫石町、葛巻町、岩手町、紫波町、矢巾町、奥州市、金ケ崎町

このセンターでは、通報場所を瞬時に地図上に表示できる高機能型のシステムを利用します。大変高価な機械ですが、共同購入によって費用が削減でき、北上地区では独自購入に比べておよそ2億円が節減されます。担当する職員も現在の半分で済み、その分災害対応にあたる職員を増やすことができ、さらに、3消防組合が連携することで、住民の安全が強化されることに

なります。

また、災害時の出動指令系統は2系統あり、万が一、2系統とも不具合がある場合は短時間で衛星回線に切り替わり、組合ごとに通報を受け付ける体制となります。

こうした共同化は、効率の良い行政を進めるため全国で取り組まれていますが、岩手県内では初の取り組みとなります。なお、当初、協議に加わっていた花巻市消防本部は、施設の整備面で意見の相違があり、今回の共同化には加わらないことになりました。

市内の避難者状況 (11月30日現在)

田野畑村	宮古市	山田町	大槌町	釜石市
1世帯	11世帯	28世帯	74世帯	54世帯
4人	18人	63人	143人	129人
大船渡市	陸前高田市	宮城県	福島県	市内間
16世帯	33世帯	22世帯	18世帯	4世帯
32人	57人	52人	48人	8人

※市で把握している人数です。市内に避難している人で、まだ北上市に連絡していない人はご連絡ください。

初めての輪行



今春から始めたサイクリングも、そろそろ冬眠に入る時期である。半年ではぼ市内の全ての地区を回ったが、和賀地区では仙人と岩沢がまだ残っていた。私もカミさんも長い上り坂は少々苦手で、仙人まで輪行することにした。輪行とは自転車専用バッグに入れて、公共交通機関を利用して移動することだ。11月下旬にしては穏やかな日曜日、絶好のサイクリング日和になった。北上線に乗ったのは何年ぶりだろうか。和賀仙人駅が意外に近く感じた。輪行は今回が初めてで、外していた前輪の取り付けにだいぶ苦戦したものの、なんとかスタートすることができた。沿道では地域の人たちが冬支度の作業をしていたので、所々立ち寄りながら和賀の松島へ。

地域の皆さんが大切にしている景観資産である綱取断層とダム湖、そして崖上の松林、まさに松島。本当に美しい眺めである。さらに岩沢にある多聞院伊澤家住宅へ。「人生下り坂最高」という某テレビ番組のフレーズを思い出す。多聞院伊澤家は、江戸時代に住み着いた修験者の屋敷であり、国指定の重要文化財になっている。これをどう保存し、活用していくのかが大きな課題になっている。地域で庭の池に中尊寺ハスを植え、毎年、貫首をお招きして青空法話の会を開催したり、春には山菜を食べる会も開催している。頑張っている地域の思いはぜひ実現させたいものである。

伊澤家を過ぎ、山口を通過して和賀西小学校付近の民家風のそば処へ。ある人からこのそばは絶品だよと聞いていたが、まさにその通りだった。翌週、最後となった臥牛まで走り、市内全地区を制覇することができた。自転車はそれぞれの地域の素晴らしさが本当によくわかる。また、来年も全地区制覇を目指して走りたい。